

センタールーフ

工 法

下 地

重ね葺き

直葺きまたは耐水合板

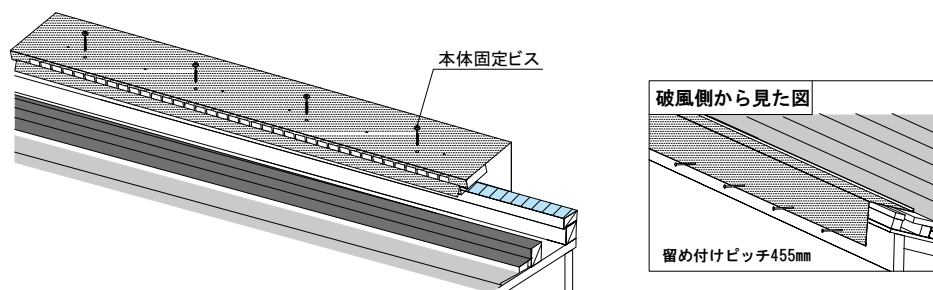
葺き替え

既存または新規野地板

7) 片流れ用換気棟

④ 片流れ用換気棟・片流れ用棟包みの施工

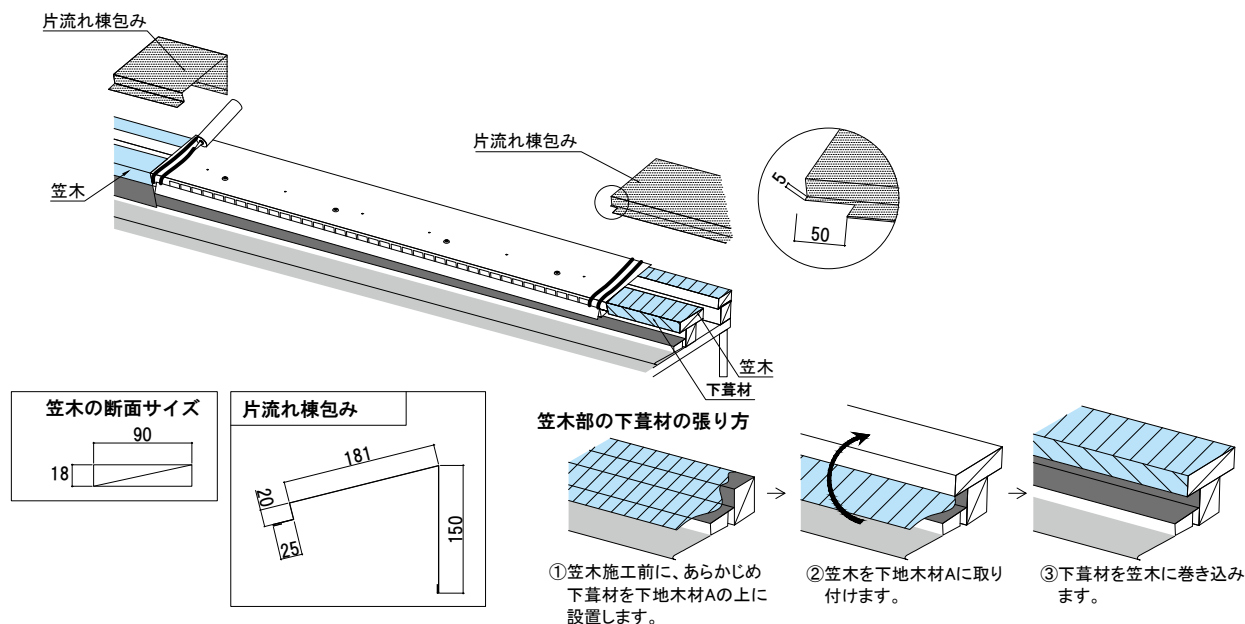
7. 片流れ用換気棟の施工



- 本体の中心位置と開口の中心位置を合わせて本体を設置し、本体固定ビス(75mm)で下地木材Aに留め付けます。
 - 本体垂れ部は化粧破風あるいはサイディングの上から、留付釘(ステンレススクリー釘、長さ:外装材厚み+30mm)以上を用いて455mm以下の間隔で必ず下地に留め付けます。
- ※片流れ用換気棟を施工する時点で化粧破風やサイディングが施工されていない場合は、施工完了後の外装材の厚みと同じ厚みの木材を挟み、本体垂れ部を仮留めしてください。化粧破風やサイディングの施工後、必ず本体垂れ部を留付釘(ステンレススクリー釘、長さ:外装材厚み+30mm)で留め付け直します。

8. 笠木および片流れ用棟包みの施工

- 片流れ用換気棟および片流れ用棟包みは棟頂部の角度を屋根勾配に合わせて調整し、棟面がたわまないように施工してください。



- 図のように、棟換気の両側面を突き付けで笠木(18×90)を設置し、棟換気側面に付いているEPDMを潰します。留付ビス(ステンレスビスφ4mm×60mm以上)で下地木材Aに留め付けます。
- ※笠木には図のように下葦材を巻きます。
- 本体端部の重ね代(50mm程度)となる部分にシーリングで防水処理を施します。
 - 片流れ用棟包みの一方の端部は、図のように切り欠き、本体端部の重ね代にかぶせ、片流れ用棟包みの前面を留付釘(ステンレススクリー釘長さ32mm以上)で笠木に留め付けます。

設計
外壁
リフォーム

事前
調査
の
方法

標準
施工
法
外壁
リフォーム

モ
エ
ン
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
重
ね
張
り
工
法

モ
エ
ン
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
張
り
替
え
工
法

セ
ン
タ
ー
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
重
ね
張
り
工
法

設計
屋根
リフォーム

セ
ン
タ
ー
ル
ー
フ
重
ね
葺
き
工
法

アル
マ
重
ね
葺
き
工
法

参考
資料